

令和5年郡山市議会12月定例会提案理由

(令和5年11月29日)

本日ここに、令和5年郡山市議会12月定例会を開会するにあたり、当面する市政の課題並びに今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**国の動向**についてであります。

今月2日に「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定、20日に総合経済対策の財源の裏付けとなる「令和5年度補正予算（第1号）」が国会に提出され、現在審議中であります。

これらは、「高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、『コストカット型経済』からの変革を果たすチャンスを迎えている」中、「日本経済を新たなステージへ移行させるためのスタートダッシュを図る」予算措置や制度改革等を示したものであります。

今後、本市への配分額等を確認した上で、実施する事業を整理するとともに、国の政策動向を注視し、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即連動させる政策立案に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は11月22日発表の月例経済報告において、「景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。」として基調判断を下方修正しております。

また、日銀福島支店は11月13日発表の金融経済概況において、「県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、着実に持ち直している。」と総括判断を据え置いております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の9月の有効求人倍率は1.60倍、前月比で0.08ポイント下回り、県全体の倍率と比較し、0.24ポイント上回っております。引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

す。

次に、**本市の音楽関係団体の活躍**については、本年も目覚ましいものがありました。

小・中学校では、10月8日、9日のNHK全国学校音楽コンクールにおいて、郡山第一中学校が銅賞を、郡山第七中学校、大島小学校が優良賞を受賞したほか、全日本合唱コンクール全国大会において、10月29日に郡山第一中学校が混声合唱の部で、郡山第七中学校が同声合唱の部で、それぞれ金賞を、また、11月12日に朝日が丘小学校が銀賞を受賞しました。

また、日本学校合奏コンクール全国大会では、11月5日のソロ&アンサンブルコンテストで、橘小学校が全国1位にあたる文部科学大臣賞を、11月18日、19日のグランドコンテストで、橘小学校、郡山第二中学校が金賞・会長賞を、郡山第一中学校が金賞を受賞するなど輝かしい成績を収められました。

高等学校では、10月7日のNHK全国学校音楽コンクールで、郡山高等学校が銀賞を受賞し、10月28日の全日本合唱コンクール全国大会で、郡山高等学校が金賞を、安積黎明高等学校が銅賞を受賞しました。

また、11月18日の日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテストで、郡山商業高等学校が銀賞を受賞するなど優秀な成績を収められました。

これらの結果は、日頃のたゆまぬ御努力の賜物であり、児童生徒の皆様と、音楽活動を支えてこられた教職員、保護者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

スポーツ関係団体の活躍については、高等学校の各種競技県大会において、ソフトボールでは10月14日に郡山北工業高等学校及び10月17日に帝京安積高等学校が、バスケットボールでは11月4日に帝京安積高等学校が、サッカーでは11月5日に尚志高等学校が優勝しました。

また、バレーボールでは11月23日に郡山北工業高等学校及び郡山女子大学附属高等学校がそれぞれ優勝を飾り、全国大会出場の切符を手に入れました。

この栄誉に対し、選手、関係者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

次に、**大規模大会等の実施状況**について申し上げます。

「こおりやま産業博」については、10月6日から8日の3日間、「NEW WORK, NEW WORLD～新たな出会い、広がる世界～」をテーマに産学金官が連携し、商・工・農・観光・福祉・文化など本市産業の協奏により開催しました。

190の企業・団体の皆様に参加いただき、本市産業の魅力発信とビジネスマッチング推進が図られるとともに、ワークショップ等を開催し過去最多となる24,186人の来場者がありました。

「地域の魅力発信セミナー」については、10月19日に、外務省や他の地方自治体との共催により、駐日外交団等へ本市をアピールするため、東京都内で開催し、「100年先の未来を切り拓く持続可能都市 郡山」をテーマに村上副市長がプレゼンテーションを行ったほか、あさか舞や日本酒等の特産品の試食・試飲や伝統工芸体験等を通じ、来場者に本市の多様な魅力を体感いただいたところでもあります。

今後におきましても、様々な機会を捉え、海外への積極的なPRを進めるとともに、農商工の連携を図りながら観光誘客や産品輸出等を含めた産業振興に繋げてまいります。

「第38回いのちの電話相談員全国研修会『ふくしま大会』」については、10月26日から28日にかけて、「社会福祉法人 福島いのちの電話」開局26周年のメモリアルイベントとして、ホテルハマツをメイン会場に開催されました。

「第75回都市計画全国大会」については、今月16日から17日にかけて、公益財団法人都市計画協会主催の下、けんしん郡山文化センターをメイン会場に福島県では52年ぶりに開催され、全国から約300名の関係者に参加いただきました。

16日は国土交通省の鎌原^{かんばら}のりふみ^{のりふみ}宜文大臣官房審議官による都市計画の基本政策に関する報告や研究発表及び記念講演が行われました。

また、これまで都市計画に功労があった団体及び個人への表彰も執り行われ、本市につきましても都市計画協会会長賞を受賞いたしました。

17日は3コースに分かれて、本市を含めた7つの都市の現地調査が行われ、本県の復興・創生の歩みや都市計画事業に関する知見を深めていただいたところでもあります。

続きまして、**当面する市政の課題**について申し上げます。

はじめに、「**令和5年台風第13号**」に伴う大雨災害に関する本市の対応については、10月25日に福島県から職員の派遣依頼がありましたことから、大雨により甚大な被害が発生したいわき市の早期の災害復旧に協力するため、来年1月から3か月間、公共施設（河川）の災害復旧工事の災害査定、設計積算、現場監督業務に当たる土木職職員を1名派遣する予定であります。

今後も被災地の早期復旧のため、関係機関と連携し、積極的に支援を継続するとともに、本市の防災体制全般の再確認を行い、万全の態勢で市民の安全・安心の確保に努めてまいります。

次に、**市制施行100周年記念事業**については、本市ではこれまで、オール郡山で市制施行100周年を創り上げるため、市内各界各層を代表する皆様で構成された大槻^{おおつき} 順^{じゅんいち} 氏を座長とする「郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会」を計6回開催し、委員の皆様から御意見を伺いながら、記念式典をはじめとする様々な記念事業について検討を進めてまいりました。

その結果、記念式典については、委員の皆様からいただいた「複数日での開催」や「多くの市民が参加できることが望ましい」などの御意見を踏まえ、けんしん郡山文化センターにおいて2024（令和6）年11月2日、3日の2日間での開催とし、1日目に表彰等を、2日目に100周年にふさわしい音楽祭を実施する方向で準備を進めております。

また、市制施行のシンボルともいえる郡山公会堂やその近隣の施設を会場とした、記念式典に合わせた各種イベントを予定しているほか、様々な記念事業も計画しております。

今後も引き続き、市制施行100周年が次の100年の礎となり、また、新たな歴史を創造する契機となるよう、万全の準備を進めてまいります。

なお、これらに関する今定例会提出議案につきましては、後ほど補正予算の概要で御説明申し上げます。

次に、**令和6年度当初予算編成**については、「『新時代100年創造都市実現型』課題解決先進都市の創生を目指す新年度予算」を基本方針とし、現役世代が活躍しながら、次世代に引き継ぐ基盤となる都市と地域づくりを推進するとともに、次の100年を見据え、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを

感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる、SDGsのキーワード「ウェルビーイング（well-being）」の向上を図り、「誰一人取り残されないまち郡山」の実現を目指すものであります。

特に、ベビーファースト事業の積極的展開による「子育て支援」や、自治力の強化と地域経済の持続的発展、「サーキュラーエコノミーの実現」などを主要な柱と位置づけ、あらゆる部局における多角的な取組を進めるとともに、部局間協奏や公民連携を加速してまいります。

次に、**いじめの未然防止対策**については、いじめ防止対策推進法（平成25年6月28日法律第71号）が2013（平成25）年9月28日に施行されてから10年が経過しましたが、10月4日に文部科学省が公表した小・中・高校等におけるいじめの認知件数は約68万2,000件と過去最多であり、福島県においても前年比345人増の7,518件と増加傾向にあります。

こうした状況を踏まえ、本市においては、各学校の学級活動や生徒会活動等において、児童生徒参加型はいじめ防止の取組を推進するとともに、健全育成を図る取組について学校運営協議会の話題としていくよう働きかけてまいります。

次に、**（仮称）歴史情報・公文書館**については、令和6（2024）年度の開館を目指し、デジタルコンテンツ及びアーカイブシステム等の展示システムを整備するとともに、令和4（2022）年度に策定いたしました「歴史公文書の選別基準」に基づき、後世に引き継ぐ歴史公文書を選別し、収蔵準備を進めてまいります。

続きまして、**提出議案等の概要**について申し上げます。

はじめに、**補正予算の概要**であります。

今回の補正予算は、新規課題・市民生活の新たな需要へ対応するため、「未来への戦略的投資の拡充」、「循環型社会強化・気候変動対応（カーボンニュートラル）」、「住民サービス・施設等の改善」を3つの柱として時宜にかなった予算を編成いたしました。

この中には、市制施行100周年記念事業の円滑な実施や、令和6年度当初からの速やかな事業着手を図るための債務負担行為の設定なども含まれてお

り、本市にとって記念すべき節目である2024（令和6）年へ向けて、遺漏のないよう準備を進めてまいります。

それでは、**主要な事務事業**について申し上げます。

はじめに、「**未来への戦略的投資の拡充**」についてであります。

まず、**市制施行100周年記念事業**のうち、今定例会に補正予算を計上している事業について、2024（令和6）年の実施時期による時系列順に御説明申し上げます。

5月には、「第59回郡山市こどもまつり」を開催する予定であり、市民団体等が出展する各コーナーでのスポーツや工作体験等のほか、市制施行100周年記念事業として来場者参加型ステージイベントやスタンプラリー、さらには子どもの権利条約やこども基本法など、子どもについて考える機会を提供します。

また、同じく5月にテレビ東京の人気番組である「開運！なんでも鑑定団」の人気コーナー「出張！なんでも鑑定団」をけんしん郡山文化センターで公開収録します。

6月には、次代を担うZ世代の想いをのせた楽曲を本市フロンティア大使である「GReeeeN」が制作を開始する予定であります。

7月には、県内初の取り組みとして、大学等に進学を希望する高校生を対象に、「進学説明会」と「職業体験イベント」を同時開催する「学生Uターン・地元雇用促進事業（未来ビュー こおりやま）」を実施します。

8月には、更なる地域の一体化の醸成と魅力向上を図るため、うねめまつり実行委員会の方針の下、ガバメントクラウドファンディングを活用し、本市フロンティア大使である^{やない みちひこ} 箭内 道彦氏のプロデュースによる新たな歌と踊りを加えた「うねめまつり」を開催します。

11月には、プロモーション委員会の提言を踏まえ、記念式典2日目に市民とプロの演奏家との共演による市民参加型の100周年を記念する音楽祭を開催します。

また、記念式典に合わせて、本市発展の礎となった安積疏水・安積開拓の歴史を学び、水資源の大切さや、開拓者精神を次の世代へ引き継ぐため、市

内のホテルにおいて「（仮称）安積疏水・安積開拓シンポジウム」での基調講演やパネルディスカッションなどを予定しております。

さらに、郡山公会堂と、その近隣に位置する中央公民館や中央図書館などにおいて、多くの方々に参加いただける記念事業を予定しております。

以上、100周年記念事業8件に係る債務負担行為計上額は、7,696万円であります。

次に、育児休業サポート職員の採用については、これまで、男性職員は比較的短期間の育児休業取得が多く、代替職員を配置できない場合が多いことから、短期間の取得にも対応できる育児休業サポート職員（会計年度任用職員）の採用に要する経費を計上しております。

次に、放課後児童クラブの増設については、来年度以降の入所児童数の増加に対応するため、行健、大槻、大島、行徳小学校の4クラブに4教室の増設及び1教室の移転を行い、140名の定員増に要する経費を計上しております。

次に、小学校教師用指導書等購入事業については、小学校49校、義務教育学校2校、計51校においてクラウド版指導者用デジタル教科書を採用し、授業に活用しているところです。

令和6年度から使用する教科書が新たに採択されることに伴い、指導者用デジタル教科書の更新に要する債務負担行為を計上しております。

次に、「**循環型社会強化・気候変動対応（カーボンニュートラル）**」についてであります。

市の施設全体について、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、環境負荷の低減を図る取組として、ZEB化やLED化などを推進しております。

その中で、東山霊園管理事務所については、供用から51年が経過し、老朽化が著しいことから、公共施設としては東北初となるエネルギー消費量正味ゼロのZEB化を含めた移転改築に要する債務負担行為を計上しております。

道路照明LED化事業については、環境負荷の低減と維持管理の費用削減を図るため、LED道路照明の整備や維持管理を行う^エ^ス^コESCO事業に要する債務負担行為を計上しております。

次に、「**住民サービス・施設等の改善**」についてであります。

シティプロモーション推進事業については、郡山駅前商業施設「A T i」屋上の市PR看板が設置から10年を迎えることから、修繕と併せ新たなデザインへのリニューアルに要する経費を計上しております。

障がい者授産支援事業については、更なる障がい者の工賃向上や社会参画の促進を図るために、農商工連携を積極的に推進するなど、来年4月から当該事業を拡充して実施するための債務負担行為を計上しております。

次に、公共工事の早期発注については、発注時期の平準化や工事の早期完了を図るため、ゼロ市債を活用し、道路維持管理事業等に係る債務負担行為を計上しております。

次に、職員等の給与改定については、本年の人事院及び福島県人事委員会勧告を踏まえ、特別職等の期末手当、一般職の給料月額や期末勤勉手当等の額を引き上げるものであります。

また、会計年度任用職員につきましては、今年度から一般職と同様、月例給及び期末手当の引き上げについて、本年4月1日に遡及して適用するとともに、来年度から勤勉手当を支給するものであり、関係条例の議案を提出しております。

以上が補正予算の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、9億4,149万4千円の増額、累計では、1,490億9,725万7千円となり、前年度同期に比較し、1.4パーセントの減となります。

また、**特別会計補正予算案**は、国民健康保険特別会計など、13の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、6億297万5千円の減額、累計では、1,053億7,727万2千円、前年度同期に比較し、1.3パーセントの増となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正予算額は、3億3,851万9千円、累計額は、2,544億7,452万9千円となり、前年度同期に比較し、0.3パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市行政センター設置条例の一部を改正する条例」など条例議案13件及び富久山町久保田字大原普通財産の売却に係る「財産の処分」や「郡山市総合福祉センター等の指定管理者の指定について」など、その他の議案25件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます、提案理由といたします。

なお、本会期中に、国の動向で御説明申し上げた現在国会で審議中の「補正予算（第1号）」の活用に伴う補正予算議案、並びに人事案件を追加提出する予定でありますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上